



# 船穂中だより

校訓 「自主 自律 実践」

第7号

令和5年5月12日



船穂中学校 HP  
QRコード

## 避難訓練 (火災)

5月2日(火)午後、災害や防災の意識を高めることを目的として火災を想定した避難訓練を行いました。担当の2年A組担任 先生からは、「おはしも」(おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない)を守れた人の確認や「災害が起きたときはまず、自分の命を守ることを大切にしてほしい」という内容の話がありました。

校長からは、「自助」「共助」「公助」について次のような話をしました。このような災害が起きたとき、大切になるのはまずは「自助」です。「自分の命を守る」ということです。火災ですから、出火場所を放送でよく聞き、火元を避けるのが大事です。そして、自分の命が守れたことを確認できたら、次は「共助」、「共に助け合う」ことが大切となります。最後は、「公助」、学校で役割を担っているのは、火災や地震の避難訓練などの災害を想定して危険から守ろうとしてくれている先生方の存在があります。ですから災害時には、先生方の指示をよく聞き、迅速に行動できるようにしましょう。

## 船穂中学校区学校運営協議会 (第1回)

5月11日(木)午後には、船穂中学校区学校運営協議会委員の皆様と生涯学習課 主幹 先生、指導課 指導主任 先生にお越しいただき、全クラスの授業参観を行っていただきました。タブレットを開いて意見を記入する場面や生徒の質問に教師がしっかりと対応している様子などを見ていただきました。倉敷市教育委員会の先生方や委員の方々、生徒が落ち着いて真剣に取り組んでいる姿に感心されていました。

その後、啓学会会長の進行のもと、船穂中学校区学校運営協議会(第1回)を行いました。学校運営協議会会則や学校の重点的な取組の確認の後、「来年度、こんなことができたらいいな」というテーマで熟議を行いました。委員からは、「GBカードを地域の方にも書いてもらう」「地域の人と接点を作る」「ほっこりとしたエピソードを知らせる」「あいさつ運動を定期的に行う」「見守りを行う」「歩行者や自転車に乗るときの交通ルールを守る」「相手を思いやる」「地域を愛する」「地域に誇りをもつ」「悩み事相談ができる場を設ける」「学校環境の整備」など、多くの意見が出されました。「GBカードを地域の方にも書いてもらう」という提案を受け、さっそく委員の方々から温かいメッセージをいただきましたので次の朝礼で紹介します。



授業参観の様子



熟議の様子